

## 第2期中期計画実施報告

学校法人 神戸薬科大学

創立 100 周年を迎える 2032 年を見据え、魅力的な大学（学生にとっては学びがいのある大学、職員においては生きがい、働きがいのある大学）を目指すため、本学の基本的な方向性を示す「第 2 期中期計画（2019～2021 年度）」を 2019 年 4 月に策定しました。第 2 期中期計画の期間は前学長の在任期間に合わせ 3 年間（2019～2021 年度）とし、次の 5 つの項目を重点項目として定めました。

#### 【重点項目】

1. 大学のガバナンス改革の推進
2. 学生募集の強化と入試広報の積極的展開
3. 社会連携の推進
4. 大学のビジョン及びキャンパス整備計画の策定
5. IR（Institutional Research）を用いた教育改革とブランド構築

2021 年度で中期計画に定めた 3 年間で終了しましたので、各重点項目の実施内容を次のとおり取り纏めました。

#### 【重点項目】

##### 1. 大学のガバナンス改革の推進

###### ・意思決定方法の改善

（実施内容）ガバナンス・コードを 2020 年 4 月 1 日に制定、大学ホームページで公表するとともに、評議員会・理事会の開催方法を見直し独立性を向上させる、監事連絡会を新設し、審議事項・報告事項について事前説明と意見交換を行う等、改革に取り組みました。学内の諸問題を解決するプロセスについては、トップダウン型ではなく、垣根を越えて議論し、最もよい解決法を見出し、その方法を実行することにより問題を解決してきました。

大学の「広報ポリシー」ならびに具現化するための方策として「広報ポリシー実施要領」を制定しました。

###### ・教学マネジメントの構築

（実施内容）修業年限内合格率を 80%以上に向上させるために、教職協働による拡大教学マネジメント会議を立ち上げ、この会議で教育について議論した結果、本学の学部教育体制の中心を担う総合教育研究センターを新設しました。このセンターで、基礎と臨床を繋ぐ本学の特徴を生かした教育システムの構築、教育支援体制の強化を行いました。さらに、教育の質保証のため、教育職員評価制度も設置しました。教育 IR システムの構築には至りませんでした。

総合教育研究センターで教学マネジメントを構築する体制ができましたので、今後、更なる教育の質向上を目指します。

- ・組織マネジメントの再編

(実施内容) 研究および実習において発生する事故について、その未然防止および再発防止を図るために安全管理室を設置しました。また、社会で活躍できる人材育成のために、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに沿った教育システムを構築する総合教育研究センターを新設しました。

- ・研究マネジメントの構築

(実施内容) URA (リサーチ・アドミニストレーター) を採用し、研究支援体制の強化を行いました。このことより、研究不正防止をより強化することができました。さらに、科学研究費補助金の採択率の向上および採択金額の増加を目指して、申請書作成の早期支援・通常支援をはじめとした支援制度を行いました。また、学長裁量経費に基づく学内共同研究 (神戸大学医学部医学科との連携研究も含む) を活性化させ、さらなる競争的外部資金 (学術研究振興資金など) 獲得に結びました。

- ・「大学院の在り方を検討する委員会」の発足と大学院活性化の方策の検討

(実施内容) 「大学院の在り方を検討する委員会」は発足しませんでした。次に示す大学院活性化の方策を行いました。

- ① 大学院の広報

- ② 早期修了制度の導入

- ③ 薬剤師レジデント制度を活用した社会人大学院を新たに設置、2023 年度入学生の募集

- ・事務職員の高度化と事務組織のガバナンス強化

(実施内容) 事務組織再編の検討、課長会規程及び事務職員等の採用に関する内規の新設、課長不在部署の解消、課長会・事務連絡会・行政職会議の有機的連携、プロジェクトチームの活用、議事録作成スピードの向上に取り組みました。

## 2. 学生募集の強化と入試広報の積極的展開

- ・入試制度の戦略的改革

(実施内容) 次に示す入試制度の改革を行いました。

- ① Web 出願システムの導入

- ② 入学試験結果を学内教育に利用するために入試関係システムを更新

- ③ 神戸薬科大学特待生制度の新設

出口戦略として多彩なキャリア支援プログラムを展開し、魅力ある大学作り に努めました。(キャリア支援プログラムの詳細については各年度の事業報告書に記載)

- ・入試広報の積極的展開についての検討 (優秀な学生の確保)

(実施内容) コロナ禍ではありましたが、積極的な高校訪問・各種相談会に参加と「薬学の誘い」の展開を行いました。

### 3. 社会連携の推進

#### ・産学官連携の推進

(実施内容) 受託研究規程を整備しました。「ひょうご産官学連携協議会」に参画しました。

#### ・地域貢献の継続的展開

(実施内容) 地域連携サテライトセンター、薬用植物園、図書館、企画・広報課等、様々な分野において地域貢献活動の実施をしました。また、東灘次世代医療人材育成コンソーシアムの地域連携組織を利用した新型コロナワクチンの職域接種を行いました。

#### ・薬剤師生涯研修支援の充実

(実施内容) 「健康食品領域研修認定薬剤師制度」(P05) の実施機関の認証(更新)を受けました。また、2022年の更新時期を迎え「生涯研修プロバイダー」(G07) の認証(更新)を申請しました。コロナ禍で対面での研修が困難となる中、研修プログラムを e-learning 授業としていち早く実施しました。

#### ・国際交流の推進

(実施内容) コロナ禍のため、難しい状況でしたが、2021年6月に大使館推薦による外国人留学生が大学院に入学しました。

### 4. 大学のビジョン及びキャンパス整備計画の策定

#### ・「大学のビジョン」の検証

(実施内容) 「大学のビジョン」の策定は行いませんでした。引き続き「大学の理念」「3つのポリシー」を本学の基本方針・ビジョンとし、取り組みを行うこととしました。

#### ・創立100周年に向けてのキャンパスデザインの策定

(実施内容) 2020年度理事会において了承され、新2,3号館建築委員会が発足しました。

### 5. IR (Institutional Research) を用いた教育改革とブランド構築

#### ・IRによる客観的、合理的なデータに基づいた施策の実行

(実施内容) 教育IR及び研究IRを用いた十分な改革には至りませんでした。今後、第2期中期計画で構築した体制で、これらのIRが充分機能するようシステム化を目指します。

#### ・PDCAサイクルの展開

(実施内容) 各部署での PDCA サイクルは毎年回して自己点検評価委員会で評価していますが、教育における PDCA サイクルは、2022 年度より導入された新カリキュラムから本格的に行う予定です。

## 6. その他（第2期中期計画の重点項目以外の取り組み）

### ・財務マネジメントの構築

(実施内容) 補助金を積極的に獲得するために、ワーキンググループを立ち上げ成果を上げました。また、学生支援を目的として、企業へ積極的に働きかけ、寄付金をいただくことができました。企業からの寄付金は学生の奨学金に活用しています。

### ・COVID-19 対策

(実施内容) COVID-19 の影響が収まらない中、学ぶ環境を維持・継続するために、オンライン授業環境としてオンライン会議システムのライセンス、Web カメラ、モバイル PC、三脚、ヘッドセット、大型ディスプレイ等の購入、さらにインターネット回線の増強を行いました。学生への直接支援として Wi-Fi ルーターの貸与、大学所有の PC の無償貸し出し、実習時に着用するフェイスシールドの無償配布、人員を配置してこまめな消毒作業の実施と換気を行いました。さらに、授業支援システムの学生ポータルシステム及び Learning Management System を整備し、ハイブリッド授業を行いました。

経済的影響を受け困窮している学生支援として、国の「高等教育の修学支援新制度」、本学独自の「応急援助奨学生制度」、授業料納付期限や延納期限の延長を実施し経済面から学生支援を行いました。

さらに、講義室においては座席の間隔を空け、かつ、常時換気を行って使用しました。食堂やテラスにも感染防止パネルを設置し、陽性判定者が出たときも速やかに濃厚接触者を特定し、クラスター発生を抑えることができました。

キャリア支援プログラム、学生カウンセリング、卒業生の生涯研修プログラム、地域連携事業の各種セミナーも順次、オンラインでの実施、または対面とオンラインのハイブリッド実施に取り組みました。

一方、「東灘次世代医療人材育成コンソーシアム」の枠組みを活用し、コンソーシアム内に「東灘コンソーシアムワクチン接種協議会」を結成してワクチンの職域接種を実施しました。

以上